

JMA Harvard
Taro Takemi
Memorial International
Symposium

日本医師会 ハーバード大学 武見太郎 記念国際シンポジウム

地域医療システムとイノベーション
: UHC (ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ) の基盤を築く

Community Health Systems and Innovations: Building the Foundation for Universal Health Coverage



横倉義武
日本医師会長/
世界医師会長



マイケル・ライシュ
ハーバード大学公衆衛生大学院
武見プログラム主任教授/
国際保健政策教授



サー・マイケル・マーモット
世界医師会元会長/
ユニバーシティ・カレッジ・
ロンドン疫学教授

開催日: 2018年 2月17日(土) 9:00-17:00

会場: 日本医師会館 大講堂

関連会議 開催日 2018年2月18日(日) 会場 東京都医師会館 講堂	10:00-13:00	武見プログラム設立35周年フォーラム
	14:00-17:00	2020年東京オリンピック・パラリンピック のレガシーとしての健康・タバコフリー 社会づくりに関する国際会議

主催 (共催) : 公益社団法人 日本医師会 ハーバード大学公衆衛生大学院 公益社団法人 東京都医師会
公益信託 武見記念生存科学研究基金

後援 (予定) : 厚生労働省、外務省、内閣府、経済産業省、文部科学省、東京都



日本医師会 ハーバード大学 武見太郎記念 国際シンポジウム

JMA Harvard Taro Takemi Memorial International Symposium

2018年 2月17日(土) 9:00-17:00

主な登壇者	基調講演1	サー・マイケル・マーモット 世界医師会元会長、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン疫学教授 「社会的な不平等軽減のための健康政策」
	基調講演2	マイケル・ライシュ ハーバード大学公衆衛生大学院武見プログラム主任教授/国際保健政策教授 「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジをめざして: 一步一步の進歩」
	基調講演3	横倉 義武 日本医師会会長、世界医師会会長 「世界医師会の貢献」
	セッション1	座長: 武見 敬三 参議院議員 テーマ: 地域医療と健康長寿: 少子高齢社会、日本の経験
	セッション2	座長: 笠貫 宏 早稲田大学特命教授 テーマ: 地域と世界をつなぐイノベーション
	セッション3	座長: マイケル・ライシュ ハーバード大学公衆衛生大学院武見プログラム主任教授/国際保健政策教授 テーマ: 地域医療の国際展開を支える仕組み
会場	日本医師会館 大講堂	〒113-8621 東京都文京区本駒込2丁目28-16 ■JR山手線:「駒込駅」南口より徒歩約10分 ■東京メトロ南北線:「駒込駅」より徒歩約10分 ■都営地下鉄三田線:「千石駅」より徒歩約8分
		

関連会議 2018年 2月18日(日)

10:00-13:00	武見プログラム設立35周年フォーラム 武見プログラムによる 35 年間の国際保健への貢献をもとに、様々な分野で活躍する武見フェローの活動の現状を共有し将来展望を述べます。主題としては前日のシンポジウムと連動して少子高齢社会の健康格差是正を取り上げます。
14:00-17:00	2020年東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとしての健康・タバコフリー社会づくりに関する国際会議 日本は経済成長期の1964年に続き、少子高齢社会である2020年にオリンピック・パラリンピックを開催します。この時代背景の違いは、オリンピック・パラリンピックの新しい意義を考える契機となります。この会議では、オリンピック・パラリンピックが全ての人の健康にどのような良い効果をもたらすことができるかを論じ、未来に続くレガシーはどのようなものかを提言します。
会場	東京都医師会館 講堂 〒101-8328 東京都千代田区神田駿河台2-5 ■JR 中央・総武線:御茶ノ水駅(御茶ノ水橋出口)下車徒歩約2分 ■東京メトロ丸の内線:御茶ノ水駅(2番出口)下車徒歩約4分 ■東京メトロ千代田線:新御茶ノ水駅(B1出口)下車徒歩約5分
	

